

# 将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき  
実質的な負債の  
標準財政規模に対する比率

地方債残高や債務負担行為に基づく一定の支出に加え、  
従来の決算になかった退職給与引当金等を負債とみなし算出



## ■算定方法

将来負担比率	=	将来負担額 (地方債残高・退職給与引当金等)	—	・ 充当可能基金額 ・ 充当特定財源見込額 ・ 基準財政需要額算入見込額
		標準財政規模 (臨時財政対策債を含む)	—	基準財政需要額算入額

## ■熊本市の将来負担比率

$$\frac{643,815 \text{ 百万円} - 448,871 \text{ 百万円}}{208,961 \text{ 百万円} - 22,597 \text{ 百万円}} = 104.6\%$$

\* 参考: 令和2年度決算

$$\frac{637,471 \text{ 百万円} - 424,141 \text{ 百万円}}{195,250 \text{ 百万円} - 20,388 \text{ 百万円}} = 121.9\%$$

**早期健全化ライン（400%）を下回っている**